【問い合せ先】 電話 045－211－1118
各課夜間共通 045－211－0774
警備救難部救難課(マリンレジャー安全推進担当)
救難課長 森本 和博 (内線 3250)
交通部企画課(船舶事故担当)
企画課長 土崎 弘志 (内線 2610)

平成２０年９月３日
１４時００分発表
第三管区海上保安本部

【速報】
今夏(7月1日～8月31日)のマリンレジャー事故の発生状況について

第三管区海上保安本部では、平成20年7月1日から8月31日までの間、管内で発生したマリンレジャー事故の発生状況について、次のとおり取りまとめました。

○ プレジャーボート等の船舶海難隻数は54隻、昨年に比べ6隻の増
○ マリンレジャーに伴う人身事故者数は88人、昨年に比べ18人の減
※ プレジャーボート等とは、プレジャーボート(モーターボート、ヨット、水上オートバイ等)及び遊漁船をいう。
※ マリンレジャーに伴う人身事故とは、船舶海難によらないプレジャーボート等の乗船者の人身事故及びマリンレジャーに伴う海浜事故をいう。

1 プレジャーボート等の船舶海難

プレジャーボート等の船舶海難隻数は54隻で、うち死者・行方不明者数は2人でした。昨年に比べ6隻の増、死者・行方不明者数は同数でした。

この内訳は、モーターボートが21隻と最も多く、次いで水上オートバイが10隻、ヨット・遊漁船が各7隻、その他9隻となっています。

また、その他9隻の詳細は、ゴムボートが5隻、シーカヤックが2隻(うち死者数は1人)、手漕ぎボートが2隻(うち死者数は1人)でした。

2 マリンレジャーに伴う人身事故

マリンレジャーに伴う人身事故者数は88人で、うち死者・行方不明者数は31人でした。昨年に比べ18人減、死者・行方不明者は3人増でした。

マリンレジャーに伴う人身事故は、次のとおり「船舶海難によらないプレジャーボート等の乗船者の人身事故」と「マリンレジャーに伴う海浜事故」に統計を分類しております。

(1) 船舶海難によらないプレジャーボート等の乗船者の人身事故

船舶海難によらないプレジャーボート等の乗船者の人身事故者数は15人で、うち死者・行方不明者数はありませんでした。昨年に比べ4人増、死者・行方不明者数は1人減でした。

この内訳は、負傷による事故者数が11人と最も多く、次いでその他による事故者数が4人となっています。その他の4人は、水上オートバイからの落水により帰還不能となったものです。

(2) マリンレジャーに伴う海浜事故

マリンレジャーに伴う海浜事故者数は73人で、うち死者・行方不明者数は31人でした。昨年に比べ22人減、死者・行方不明者数は4人増でした。

この内訳は、遊泳中の事故者数が42人(うち死者数は23人)と最も多く、次いでサーフィン中の事故者数が12人(うち死者数は2人)、スキューバダイビング中の事故者数が7人(うち死者数は2人)、釣り中の事故者数が2人(うち死者数は2人)、磯遊び中の事故者数が2人(うち死者数は1人)、その他8人(うち死者数は1名)となっています。

また、その他8人の詳細は、バナナボートからの落水に伴い負傷したもの4人、遊泳者の救助に向かい帰還不能となったもの3人、遊漁船の乗船待ち中に岸壁から転落したもの1名(うち死者数は1名)でした。

3. 今夏(7・8月)のマリンレジャーに伴う人身事故の特徴

(1) 遊泳中に発生した事故の特徴

マリンレジャーに伴う海浜事故のうち、事故者数が最も多い遊泳中の事故を見ると、離岸流等で沖へ流されたことに伴う事故者数は19人(うち死者数は4人)であり、遊泳中の事故の約45%を占めています。

また、飲酒を伴う遊泳中の事故者数は約17%にあたる7人(うち死者数は6人) であり、飲酒を伴う遊泳事故の死亡率は約86%と高い割合となっています。

(2) 今夏の人身事故の特徴

7月におけるマリンレジャーに伴う人身事故者数は42人(昨年比19人増)で、うち死者・行方不明者数は15人(昨年比9人増)でした。

また、8月におけるマリンレジャーに伴う人身事故者数は46人(昨年比37人減)で、うち死者・行方不明者数は16人(昨年比6人減)でした。

昨年と比べて7月の人身事故は増加したものの、8月の人身事故が大幅に減少したことから、今夏のマリンレジャーに伴う人身事故は昨年と比べて約17%減少しました。

今夏は、関東沿岸に台風の接近が無かったこと、8月のお盆明け後頃から曇りや雨の日が続いたことなどが、マリンレジャーに伴う人身事故が減少した要因の一つと考えられます。

また、今年の梅雨明けは昨年と比べ13日早い7月19日頃(昨年は8月1日頃)であり、学校の夏休み前に梅雨明けとなったことなどが、7月中の人身事故の増加に繋がったものと考えられます。

別　表

今夏(7・8月)のマリンレジャー事故発生状況

【7／1～8／31】

1 プレジャーボート等の船舶海難

（単位：隻・( )は人）

船舶の用途＼年	平成19年確定値	平成20年速報値
モーターボート	25(1)	21(0)
ヨット	12(1)	7(0)
水上オートバイ	5(0)	10(0)
遊漁船	3(0)	7(0)
その他	3(0)	9(2)
合　計	48(2)	54(2)

注1）（ ）内は死者・行方不明者数で再掲
注2） その他とは、シーカヤック、ゴムボート等をいう

2 マリンレジャーに伴う人身事故

（単位：人）

船舶の用途＼年		平成19年確定値	平成20年速報値
船舶海難によらないプレジャーボート等の乗船者の人身事故	海中転落	2(0)	0(0)
	負傷	6(0)	11(0)
	病気	1(0)	0(0)
	中毒	0(0)	0(0)
	その他	2(1)	4(0)
	小　計	11(1)	15(0)
マリンレジャーに伴う海浜事故	遊泳中	59(23)	42(23)
	磯遊び中	9(3)	2(1)
	釣り中	2(0)	2(2)
	サーフィン中	14(0)	12(2)
	ボートセーリング中	2(0)	0(0)
	スキューバダイビング中	3(1)	7(2)
	ウェイクボード中	0(0)	0(0)
	その他	6(0)	8(1)
	小　計	95(27)	73(31)
合　計		106(28)	88(31)

注1）「プレジャーボート等の乗船者の人身事故」とは、船舶海難以外の事由により発生したプレジャーボート及び遊漁船の乗船者の事故をいう
注2）（ ）内は死者・行方不明者数で再掲